

「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価【企業部門】

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs 大賞	「KAMIKURU」プロジェクト ～紙の循環から始める地域共創プロジェクト～	地域の企業や団体、学校、自治体などから回収した古紙をアップサイクルすることで、紙の循環に新たな価値を提供する。この活動を通じ、多様な関係者によるサーキュラーエコノミーを実現し、さらには障がい者の雇用創出と SDGs の未来を担う人材育成を目指す。	アップサイクルによるサーキュラーエコノミーの実現を目指していることが有意義である。多様な組織・教育機関との連携・支援がなされ、実践内容も多彩である点が良い。北九州独自の視点、課題への関わりを明確にして、進めていただきたい。
	エプソン販売株式会社		
SDGs 賞	適正な廃棄物処理と効率的な資源循環によるサーキュラーエコノミーと働きがいのある職場の実現	塩化揮発技術の粋を極め、適正な廃棄物処理と効率的な資源循環を追求し、地球環境保全・地域社会への貢献に取り組む。 また、安全で働き甲斐のある職場づくりと「真の豊かさ」を実現する人材育成と協働を推進する。	自社の強みを生かしながら環境保全の王道を歩んでいることは持続可能である。社会問題に対し、広く取り組んでいるところが良い。 市内企業など他者への波及を期待したい。
	光和精鉱株式会社		
	環境への取り組み	環境に関わる測定、分析、調査、コンサルタントを行い、環境産業の発展に貢献。また、多くの環境・エネルギー問題解決に向けて、環境分野の人材育成に積極的に取り組み、SDGs モデル都市、環境未来都市としての発展に寄与している。	環境にかかるこれまでの実績が活かされている。本業だけでなく「環境未来都市 北九州市」のために様々な形で地域貢献している。「協働」の具体的な内容・取組をもう少し分かりやすくして示して欲しい。
	環境テクノス株式会社		

「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価【企業部門】

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs 賞	1. 子ども食堂支援 2. 循環型土壌保全 3. 肌荒れトマトの活用	規格外で販売できないトマトを使ったメニューの開発を大学と協働するとともに、食材提供で子ども食堂を支援する。また廃棄されるトマト葉や珈琲カスを混合し植物性堆肥・培養土を製造、無償配布し、CO ₂ 排出量減に取り組む。	食から社会的課題へ実践的な貢献をしている。生産、消費、廃棄(再利用)といった循環の仕組みが確立されている。取り組みを通じた社員の意識や行動の変化が見える化されると良い。
	響灘菜園株式会社		
奨励賞	地域住民の「心のサポーター」めざして	超高齢社会で高齢者が共に支え合えるよう、自社の研修施設を地域住民に無料開放。その他のセレモニーホールも可能な限り地域活動に開放し、災害時の避難所の指定を受けるなど、地域住民の安心の柱になり、地域住民の健康と福祉のための「心のサポーター」役を目指している。	高齢化率の高い北九州市にとっての課題解決の一つであり、SDGs の3つの側面から地域に根ざした様々な活動を行っている。社会貢献から社会連携へと発展させていきたい。
	株式会社サンレー		